

「宮古の真鱈」PR ロゴ・イラストの利用規程

岩手県沿岸広域振興局水産部宮古水産振興センター

(目的)

第1条 この規程は、「宮古の真鱈」PR ロゴ及びイラスト（以下「ロゴ等」という。）の利用に関し、必要な事項を定めるものとする。

(利用の申請)

第2条 ロゴ等を利用しようとする者は、あらかじめ岩手県沿岸広域振興局水産部宮古水産振興センター（以下「当所」という。）の許諾を受けなければならない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、この限りではない。

- (1) 国、岩手県、宮古・下閉伊管内の市町村が利用する場合
- (2) 宮古・下閉伊モノづくりネットワーク水産部会員が利用する場合
- (3) 宮古真鱈まつり実行委員会が利用する場合

2 前項の許諾を受けようとする者は、利用申請書(別記様式第1号)に次の書類を添えて、当所に提出しなければならない。

- (1) 会社概要等、申請者の事業内容がわかる資料
- (2) ロゴ等の利用状況がわかる完成見本等
- (3) 営業許可証、製造許可証、販売先一覧（保健所の許可証等が必要な食品の場合）
- (4) その他、当所が必要と認める書類

(利用の許諾)

第3条 当所は、前条の利用申請があった場合は、その内容を審査し、当該利用が「宮古の真鱈」のPR に寄与すると認めるときは、利用の許諾（以下「利用許諾」という。）をすることができる。この場合において、当所は必要があると認める場合には、ロゴ等の利用方法その他について、条件を付することができる。

2 ロゴ等の利用許諾の期間は、許諾した日から3年を経過する日の属する年度の末日を超えないものとする。

3 当所は、利用許諾を行ったときは、利用許諾書(別記様式第2号)を申請者へ送付する。

(利用許諾の制限)

第4条 ロゴ等の利用が次の各号のいずれかに該当する場合は、当所は許諾しないものとする。

- (1) 法令及び公序良俗に反するものと認められる場合
- (2) 岩手県並びに「宮古の真鱈」及び「宮古の真鱈」を使用した加工品の信用又は品位を害するものと認められる場合
- (3) 第三者の利益を害するものと認められる場合
- (4) 特定の個人、政党、宗教団体を支援し、又は支援するおそれがあると認められる場合

- (5) 社会問題についての特定の主義又は主張に当たると認められる場合
- (6) 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律(昭和 23 年法律第 122 号)第 2 条に定める営業を行う者が使用する場合及びこれらの者に商品等を販売する場合
- (7) ロゴ等の利用によって誤認または混同を生じさせるおそれがあると認められる場合
- (8) ロゴ等のイメージを損なうおそれがあると認められる場合
- (9) 立体物で、その表現が ロゴ等の立体物と認められない場合
- (10) ロゴ等の著しい変形その他ロゴ等の利用が適当でないとして認められる場合
- (11) 利用申請の内容又は責任の所在が不明確と認められる場合
- (12) 虚偽の内容若しくは事実と異なる内容を含むもの又は事実を誤認するおそれがあるものと認められる場合
- (13) その他、当所がロゴ等の利用が適当でないとして認める場合

(利用料)

第 5 条 ロゴ等の利用料については、無料とする。

(利用上の遵守事項)

第 6 条 第 3 条の規定による利用許諾を受けた者(以下「利用者」という。)は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 許諾された利用内容のみに利用をすること。
- (2) 当該利用に係る物件の完成品を提出すること。ただし、提出が困難なものについては、写真等を提出すること。
- (3) 第 3 条の許諾を受けた権利を譲渡又は転貸しないこと。

(許諾内容の変更等)

第 7 条 利用者が利用許諾の内容について変更をしようとする場合は、あらかじめ利用許諾内容変更申請書(別記様式第 3 号)を当所に提出し、当所の許諾を受けなければならない。

2 当所は、前項に規定する変更申請書を受理した場合には、その内容を審査のうえ、適当と認めるときは、これを許諾し、利用変更許諾書(別記様式第 4 号)を交付する。

(許諾期間の延長)

第 8 条 利用者は利用許諾の内容を変更することなく利用許諾期間を越えて引き続き利用しようとする場合は、あらかじめ、利用許諾期間延長報告書(別記様式第 5 号)の提出を持って、許諾を受けたものとする。

(許諾の取消し等)

第 9 条 当所は、次の各号のいずれかに該当する場合は利用許諾(第 7 条の規定による追加又は変更の許諾及び第 8 条の規定による期間延長の許諾があったときは、その追加又は変更後及び期間延長後のもの。以下同じ。)を取り消し、利用者に対し、利用物件等の回収等の措置を請求することができる。利用者は、利用許諾が取り消された場合、許諾取消の日から使用することはできないものとする。

- (1) 利用者がこの規程に違反した場合
 - (2) 利用者が第3条の利用許諾に付した条件に違反した場合
 - (3) 申請書の内容に虚偽のあることが判明した場合
 - (4) 第4条各号のいずれかに該当するに至った場合
 - (5) その他ロゴ等の利用継続が不相当であると認められた場合
- 2 当所は、前項の規定による利用許諾の取消しにより利用者に生じた損害について、一切の責任を負わないものとする。
- 3 当所は、利用者にロゴ等の利用状況等について報告させ、又は調査することができるものとする。

(利用の非独占性等)

第10条 この規程による利用許諾は、利用者が自己の商標や意匠とするなど、独占してロゴ等を利用する権利を付与し、又は、商品、利用者等について当所の推奨を行うものではない。

(経費等の負担)

第11条 当所は、この規程による利用許諾の申請に要した費用及び利用の実施に係る経費又は役務を負担しない。

(損失補償等の責任)

- 第12条 当所は、ロゴ等の利用を許諾したことに起因する損失補償等について、一切の責任を負わない。
- 2 利用者は、ロゴ等を利用した商品等の瑕疵により第三者に損害を与えた場合は、これに対し全責任を負い、当所に迷惑を及ぼさないように処理するものとする。
 - 3 利用者は、キャラクターの利用に際して故意又は過失により当所に損害を与えた場合は、これによって生じた損害を当所に賠償しなければならない。

(情報の公開)

第13条 当所は、ロゴ等の利用許諾の状況等について、広く利用促進を図る観点から、ロゴ等の利用許諾の状況等について情報を公開することができる。

(事務)

第14条 この規程に関する事務は、当所が行う。

(その他)

第15条 この規程に定めるもののほか、ロゴ等の利用に関し必要な事項は、当所が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、令和3年12月8日から施行する。

別記（第1条関係） 宮古の真鱈 PR ロゴ・イラスト及び仕様

【ロゴ】

宮古の真鱈

MIYAKO NO MADARA

色調変更、拡大及び縮小は可。

意味が通用しない部分的な切り抜きは不可。

それ以外の画像反転、加工、縦横の比が著しく異なるもの等は当所へ要相談。

【イラスト】



画像反転、拡大及び縮小は可。

その他加工、縦横の比が著しく異なるもの、色調変更、部分的な切り抜きは当所へ要相談。

【ロゴ・イラスト】



拡大及び縮小は可。

画像反転、部分的な切り抜きは不可。

それ以外の色調変更、加工、縦横の比が著しく異なるもの等は当所へ要相談。